

2020.2.7 九州IoT実装推進
ワーキンググループ(第5回) 資料

IoT活用による 多久市の取り組み

多久市役所 商工観光課 商工観光係 係長 石上涼子

内閣官房 シェアリングエコノミー伝道師

総務省 地域情報化アドバイザー



佐賀県多久市の概要

多久翁(たくおう)さん



- 市の花(うめ)
- 市の木(かえで)
- 人口 19,052人
- 男性 8,963人 / 女性10,089人
- 世帯数 7,875世帯
(令和2年1月1日現在)



多久聖廟(1708年創建、毎年春と秋に孔子を祀る伝統行事「釈菜」(せきさい)開催)



多久市の観光資源





多久市が有名になったのは、



秋田県湯沢市・千葉県千葉市・
静岡県浜松市・佐賀県多久市・
長崎県島原市の5都市

平成28年11月24日シェアリングシティ宣言

中頓別町（北海道）

CrowdWorks



シェアリングシティ認定（全18自治体）

2019.8.1現在



奄美市
Amami City



大津市



加賀市



釜石市
KAMAISHI CITY



鯖江市



島原市
SHIMABARA CITY



多久市



千葉市



天塩町



南砺市



日南市



浜松市



湯沢市



横瀬町

中頓別町（北海道）、関市（岐阜県）、小菅村（山梨県）

シェアニッポン100に多久市が掲載！



シェア・ニッポン100
～未来へつなぐ地域の活力～

シェアリングエコノミー活用事例集(平成29年度版)

平成30年3月20日
内閣官房シェアリングエコノミー促進室

事例の分布状況



30. 佐賀県多久市における取組

(取組主体:多久市、特定非営利活動法人価値創造プラットフォーム)

クラウドソーシングサービスと提携し、育児や介護で自宅から離れられない方や空き時間を活用したい方にITスキル向上の機会と在宅でもできる仕事を提供し、新たな就業機会を創出

導入前の状況(課題)

- かつては炭鉱の町として栄えたが、昭和47年には最後の炭鉱も閉山し、人口流出が加速、現在では人口2万人を切る。
- 少子高齢化率が高く、働く場所が少ないため人口流出の歯止めがかからない(30年間で約24%の人口減)

課題に対する取組

- 高齢者や介護・子育て等を理由にフルタイムで働くことが困難な住民を対象に、ITスキルの習得・向上のための講習会を開催
- 託児やコワーキングのスペースを完備したローカルシェアリングセンター(造語)を設置し、受講生が気軽に集い、相談できる場所を提供し、サポートを充実

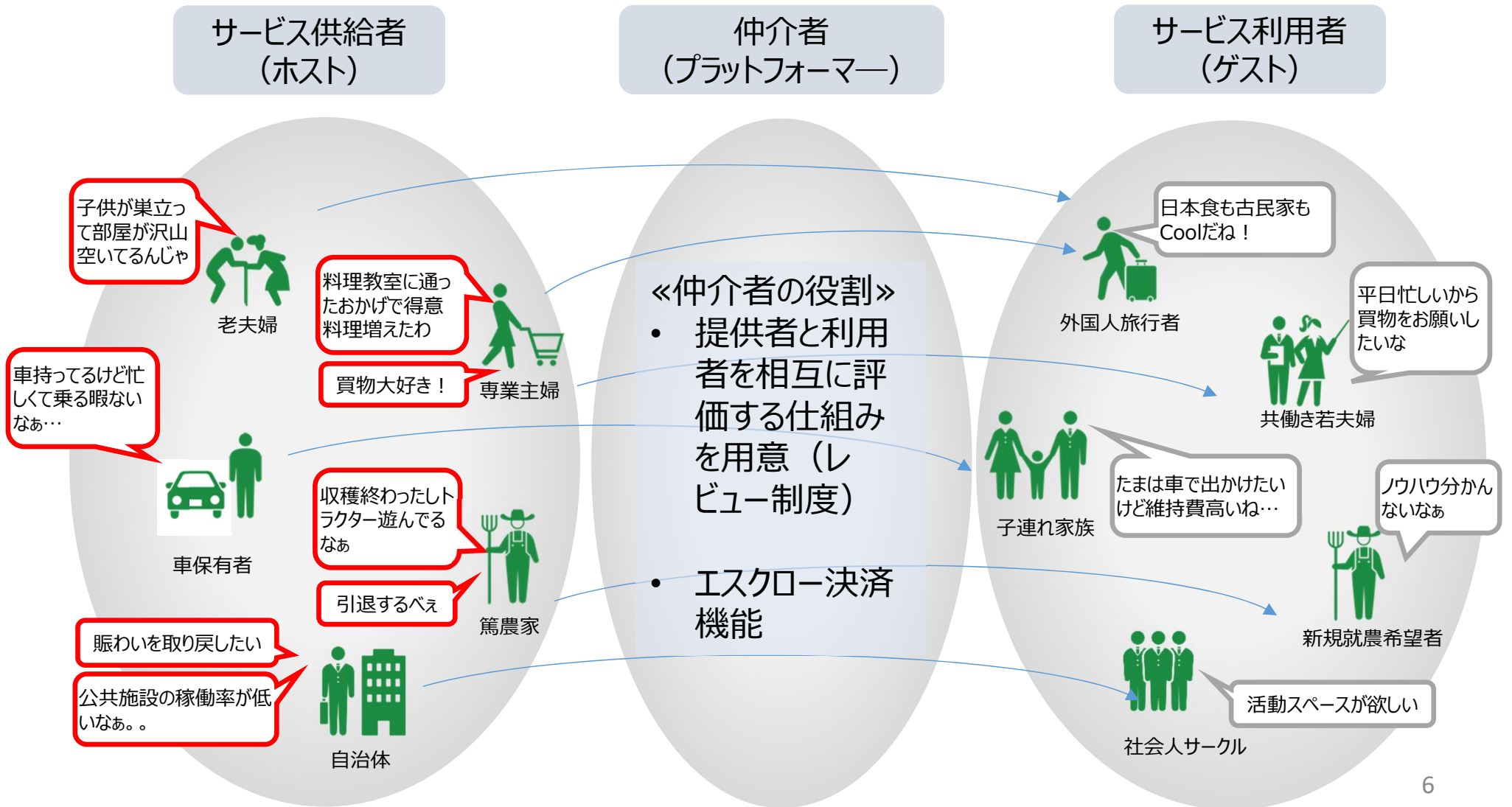


導入後の状況(取組の効果)

- クラウドディレクター2名とクラウドワーカー37名を育成。育成事業終了後も継続的に仕事を受注
- ワーカーは子育て世代の女性が多いが、引きこもり経験のある方など外部でのフルタイム勤務が難しい方もいる。
- 多数のワーカーを抱えることで、まとまったボリュームの業務を受託できるようになっただけでなく、ワーカー間で仕事の負担調整を行うことが可能に(受注金額はチーム全体で月最大約32万円超)
- 毎月定例会を開き、ワーカー同志の情報交換や孤立感の解消を進め、スキルアップの講習等も行う。

シェアリングエコノミーとは

- 個人等が保有する活用可能な資産等（スキルや時間等の無形のものを含む）を、インターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動 〔シェアリングエコノミー検討会議中間報告〕



シェアリングエコノミー(共有経済)



※掲載している企業はシェアリングエコノミー協会会員の一部抜粋となります

シェアリングエコノミーの 카테고리とサービス例

カテゴリ		サービス例	含まれる市場類型			
			CtoC	CtoB	BtoC	BtoB
スペース	民泊 (部屋)	Airbnb、STAY JAPAN	○	○	○	
	民泊以外 (駐車場、会議室、イベントスペース等)	akippa、軒先、 スペースマーケット、Spacee	○	○	○	○
モノ	売買 (フリマアプリ等)	メルカリ、ミンネ、ラクマ	○			
	レンタル (高級バッグ、洋服等)	ラクサス、モノシェア、airCloset	○	○	○	
移動	カーシェア	Anyca、Dカーシェア	○	○	○	
	サイクルシェア	ドコモバイクシェア			○	
	その他 (料理の運搬、買い物代行等)	Uber eats	○	○		
スキル	対面型 (家事、育児等)	AsMama、TABICA、タスカジ	○	○		
	非対面型 (記事執筆、データ入力等)	ランサーズ、ココナラ、 クラウドワークス	○	○		
お金	購入型 (必要金額が集まった場合に商品 開発・イベント等を実施)	マクアケ	○	○		
	その他 (寄付、貸付、株式購入等)	JAPANGIVING、Maneo、 セキュリテ、FUNDINNO	○	○		

地方創生加速化交付金事業の活用

- ①平成28年3月議会「地方創生加速化交付金事業」として「人としごと創生事業補助金」の中に「ローカルシェアリングセンター事業補助金」
- ②平成28年度繰越明許費（総務費・総務管理費・企画費）地方創生加速化交付金事業（41,623千円）により、平成28年度事業として実施

【ソフト事業】

ローカルシェアリング事業+
チャレンジショップ事業



【ハード事業】

コンテナハウス建築



① 多久市ローカルシェアリングセンター

【目的】

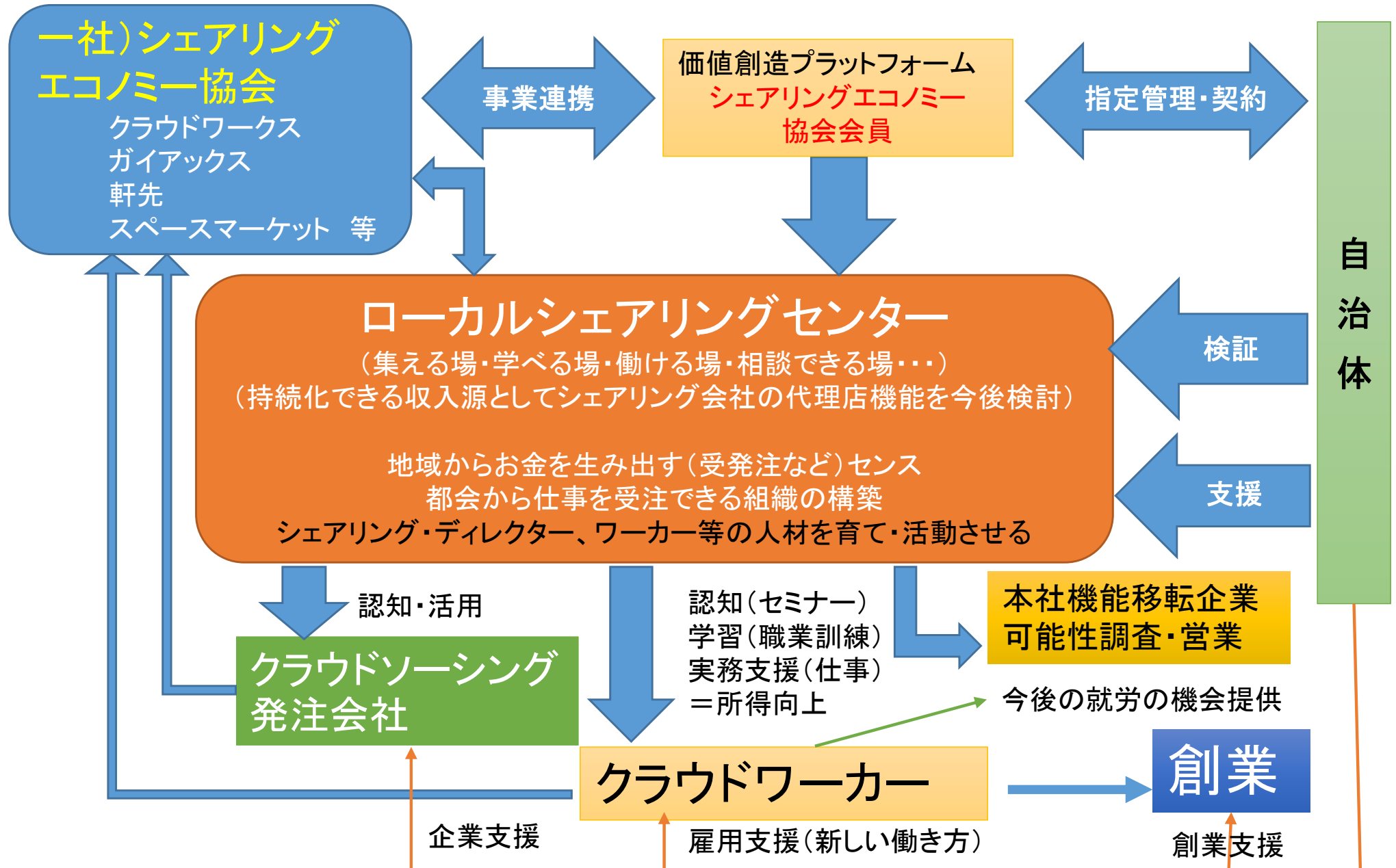
- 仕事をしたくても環境上できない方に対し、スキルを高める研修を行い、就業の機会を提供する。
- 創業を検討されている方の地方でのスタートアップとして仕事の受注機会を増やす。
- 都市圏での仕事を地方で実施する流れを作り、地方の所得増と、ワーカースキル向上による都市圏企業の本社機能を誘致できる地域としての下地を作る。

【機能】

- 研修所（学べる場所）
- 交流の場所（気軽に集い、相談できる場所）
- コワーキングスペース（仕事を行う場所）
- 託児スペース



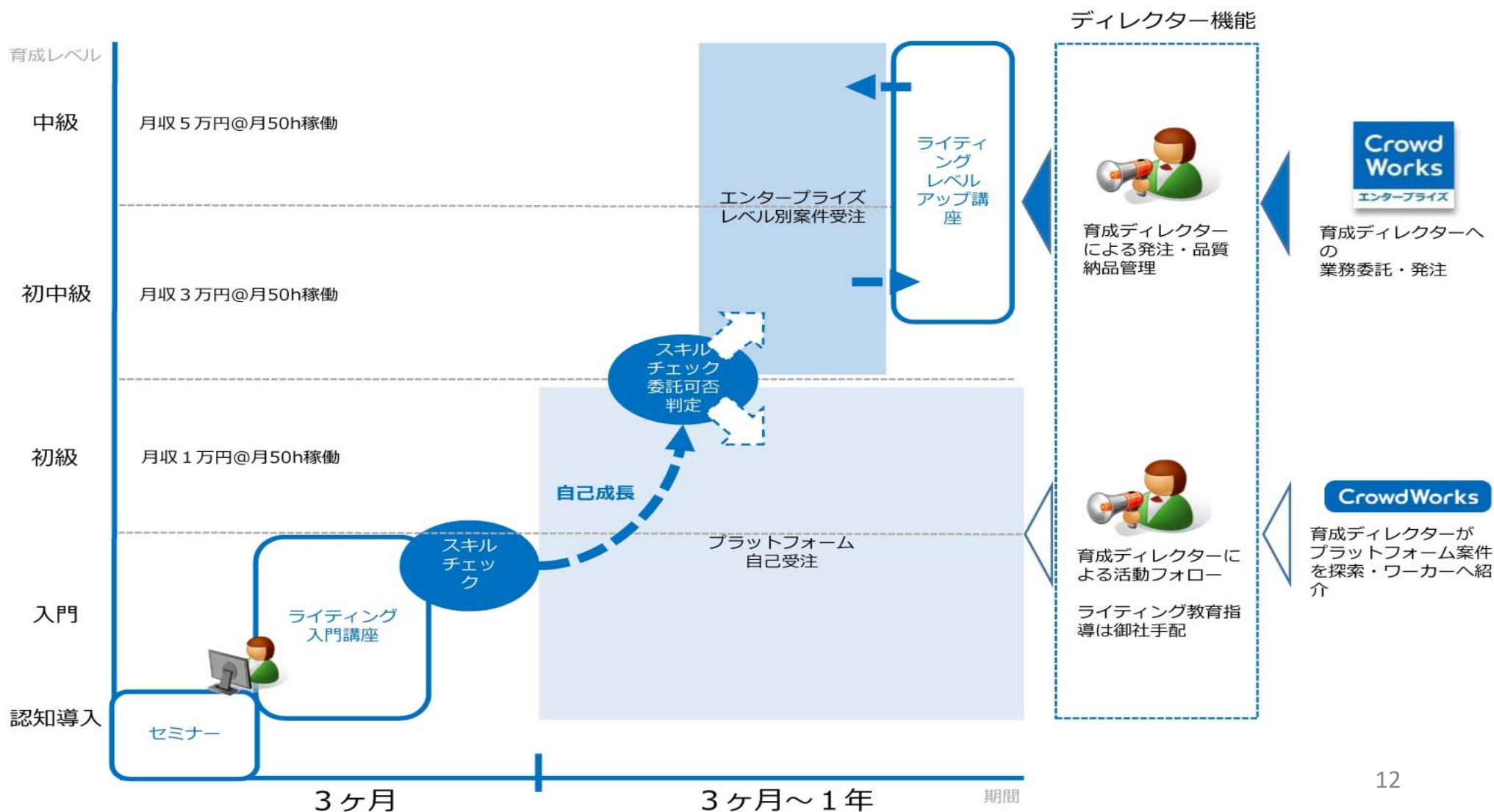
②ローカルシェアリングセンター事業概要













③クラウドソーシングで稼げる能力をつける

「クラウドディレクター・ワーカー育成」事業

■ワーカーレベルと教育プラン



④シェアリングエコノミーセミナーの実施

月日	登壇社1	登壇社2	登壇社3	登壇社4
7/29	 クラウドワークス	 エニタイムズ		
9/20	 ココナラ	 AsMama		
11/1	 ガイアックス	 軒先株式会社	 notteco	 バズポート
1/27	 スペースマーケット	 Airbnb		
2/17	 クラウドワークス	 内閣官房シェアリングエコノミー促進室		

⑤ 多久市ひとつとごと創生協議会

自治体の課題とシェアリングエコノミー領域事例

多久の未来が変わる
シェアリングエコノミーシティー

自治体の課題とシェアリングエコノミー領域事例

- 学びシェア
- 教育・育児保育施設
- インバウンド & 文化継承
- 地域共助のシェア
- 子育てシェア
- 省エネルギー地域環境
- 自治体の課題
- 空き家 & スペース
- 地域活動のシェア
- モノのシェア
- その他
- 観光・文化のシェア
- カーシェア
- スキル&相談のシェア
- スペースのシェア

自治体の課題や活動領域に対して、シェアリングサービスで解決を目標とします。

シェアリングエコノミー（共有経済）ってご存知でしょうか？ 2016年11月多久市は、シェアリングシティ宣言を行いました。とはい先聞きなれない、シェアリングエコノミーによって多久市がどう変わるのかをご紹介します。

シェアリングエコノミーとは

昨今の日本は、ICTの多様化で、モノや時間などを「使い捨てる」時代から、使われていない遊休資産を「共有する」ことができる時代となりました。これは、互いの利点を高め、弱点を補い合う画期的なことです。シェアリングエコノミーはインターネットを通じて、これまで行ってきたさまざまなサービスをシェア（共有）しながら、活用することで、豊かな「まち・ひと・しごと」を創生します。

これまで身近な人との間のみ成立していた地域共生文化やモノの貸し借り文化「SHARE（＝シェア）」が、民泊の「AirBnB」やライドシェアの「Uber」などの企業と協力することで、時間・空間・立場を超えることのできる全く新しい共有体験を生んでいます。

～シェアリングエコノミーを推進します～

多久市では、この「共有するサービス」＝「シェアリングエコノミー」を推進することで、市民のみならず活躍し豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

お互いのニーズをマッチングする（つなぐ）ことは、双方の利益につながります。経済効果としては、収入が増えることだけでなく、認識が深まることで他人から感謝されたり、人とつながったりすることで「やりがい」が湧いたり、市民満足度の向上も期待できます。

新しい経済であるシェアリングエコノミーをみなさんに理解していただき、いち早く活用していくことで、ICTを踏んで、市民満足度の高いまちづくりに活かせます。

この取り組みを進めることは、5年後、10年後の将来に向けて、大切な資源となる可能性を多く含んでいます。

Taku

市報たく

NO.668 2017年 2月

- 緑園に輝く -
みんなで創る 文教・安心・交流のまち 多久

特集 多久の未来が変わる
シェアリングエコノミーシティー

INDEX

- 04 人事行政の運営等の状況を公表します
- 07 確定申告は期間内にお済ませください
- 09 子どもの医療費助成制度を改正します
- 11 医療費のクレジットカード支払いができます!!
- 13 就学援助制度のご案内
- 15 国保通信
- 17 小中一貫教育推進No.47
義務教育学校移行に向けて（その3）
- 18 まちのわたい
- 20 健康リズム
- 22 Hello! 福祉 実践! いきいきセカンドライフNo.11
好奇心を持って、なんにでも挑戦し続ける
セカンドライフを豊かにしよう!!
- 24 各種お知らせ

今月の税の納期をお知らせします

固定資産税	第4期	2月28日
国民健康保険税	第9期	2月28日

※納期前に納付されると督促手数料、延滞金がかかる場合があります

QRコード: 市報たくがスマートフォンでも読めます

FM佐賀 77.9MHz Hello! 多久 好評放送中

毎週月曜 お昼12時～12時30分

⑥ 多久市での効果（口コミ）

- 市民満足度の向上！！（多久市何かやってる？）
- 少額でも収入につながった！自分のためにお金を使える喜び！
- 女性の就労支援→今後の就職にも有利！！
- 多久市外者からの認知度向上（ワーカーは多久市外者もOK）
- シェアリングシティとして多久市のイメージアップ
- 働きたい人のサークルができ、定例会開催等により、事業継続やる気・モチベーションアップ！
- シェアリングエコノミーにより市民の便利な生活に期待
- 防災、観光、福祉など新たなIoTへの理解が深まった



多久市のシェアリングで課題解決

1. 仕事(雇用)

→ → → 在宅ワーカーの育成

CrowdWorks



2. 観光資源

→ → → TABICA(タビカ)体験型観光連携

TABICA
地域暮らしを旅する



3. 多久市の魅力発信

→ → → シェアリング効果により魅力的な街へ

アズママ
A-S-Mama Inc.



ANYTIMES

多久市の取り組み①(平成29年度～)

1. 地域おこし企業人の活用

(地域おこし交流プログラム事業)

⇒シェアリングエコノミー協会事務局

株式会社ガイアックス(タビカ)との連携



多久市の取り組み②(平成29年度)

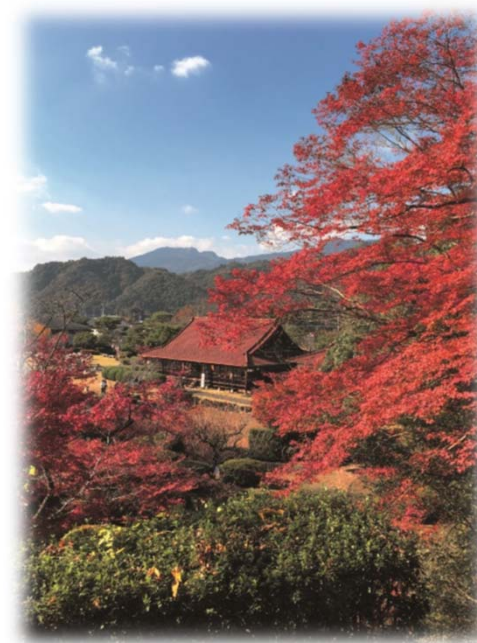
2. 総務省地域IoT実装実験事業

【防災】 IoTとG空間情報を融合した
多久市G空間地域防災システムの構築事業



【観光】

官民協働による九州の地域資源
観光シェアリング化事業
⇒タビカ体験コンテンツ造成



多久市の取り組み③(平成30年度)

3. スマートフォンタブレット勉強会

(ドコモのスマホ教室+地域老人会)

→→→ IoT活用による便利な生活

→→→ シェアリングエコノミーの地域コミュニティの
形成(たすけあい)

→→→ シェアエコで少額でも収入につながる

4. 佐賀県子育てしたい県宣言関連事業

→→→ エニタイムズの活用

【例】庭木選定、大掃除手伝いなど

→→→ アズママの活用

【例】保育園お迎え、食事、お風呂



多久市の取り組み④(平成30年度)

5. ドクターシェアリング事業(遠隔医療相談)

→→→ドクターの隙間時間の活用

→→→チャットによる医療相談

→→→セカンドオピニオン

6. ICT教育アワードにて総務大臣表彰受賞

→→→夢つかむ子と素敵な先生になるためのフルクラウド改革～小さな「たく」の大きな「たくらみ」

7. 志田林三郎ICTクラブプログラミング勉強会

→→→総務省 地域におけるIoT学び推進事業

ご清聴ありがとうございました。

佐賀県多久市
一緑園に輝く—
みんなで創る
文教・安心・交流のまち



ぜひ、一度おいでください。
ご案内いたします。

